

今月のピックアップ生薬

8月

展示番号 N0.51 防已(ボウイ)

◆使用部分 (つかうところ)

茎や根・・・つる性の茎や根を
使います。黒くなるまで自然乾
燥します。

◆産地 (とれるところ)

日本・・・関東より西の暖かいと
ころに生えます。徳島県など。

◆用途 (どんな時に使う?)

鎮痛、利尿・・・関節痛やむくみなどの解消に、漢方薬とし
て使うことがあります。

◆どんな植物

ツヅラフジ科のオオツヅラフジと言う植物です。落葉性で多年生
の植物。つる性を持ち、その茎は、木の枝のように硬くなります。
その茎の部分や、根の部分を生薬の「防已」として利用します。



夏になると、茎と葉の付け根部分から円すい状の小さな白い花を咲かせます。「防已」は、ボウイとよばれますが、1980年代に活動していたロックバンドの「BOØWY(ボウイ)」とは何の関係もありません。

◆化学成分： シノメニン (sinomenine)、ジシノメニン (disinomenine)

シノメニンは、主にオオツヅラフジから単離されます。別名、クコリンともいいます。分子の構造としては、ケシからとれるアヘンの成分と同じような、モルヒ

ネ骨格を持っています。

モルヒネの鏡像体です。

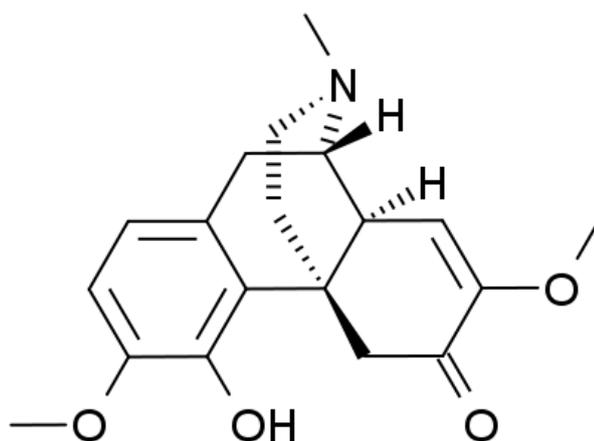
そのため、モルヒネのような強い痛み止めなどには

なりません。エタノール、

アセトンに良く溶け、水に

ほとんど溶けない性質を有します。

ジシノメニンは、シノメニンが2つくっついた、二量体といわれるものです。



シノメニン $C_{19}H_{23}NO_4$
分子量:329.39

来月は、No.17の香附子(コウブシ)を取り上げます。

実際の医薬品としての効能などについては、薬剤師や、医師にご相談ください。